

6616

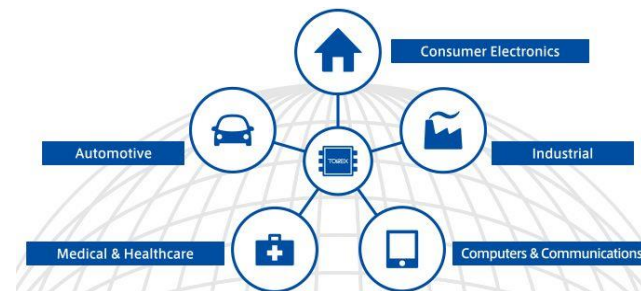
TOIREX
Torex...Powerfully Small!

第22期（2017年3月期）第1四半期 決算説明資料

2016年8月10日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている
あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



1

2017年3月期 第1四半期業績

2


2017年3月期 通期予想

3

トレックスのこれから

Appendix


2017年3月期 第1四半期業績

 これまでの事業

超小型・省電力
電源ICの
開発・販売



トレックス・
セミコンダクター
グループ

 フェニテック

半導体（ウェハー）
の製造・販売

- ▶ フェニテックの子会社化により事業規模が拡大
- ▶ フェニテックは新工場の立上げ途上のため減益
- ▶ 子会社化に伴う負ののれん発生益を計上

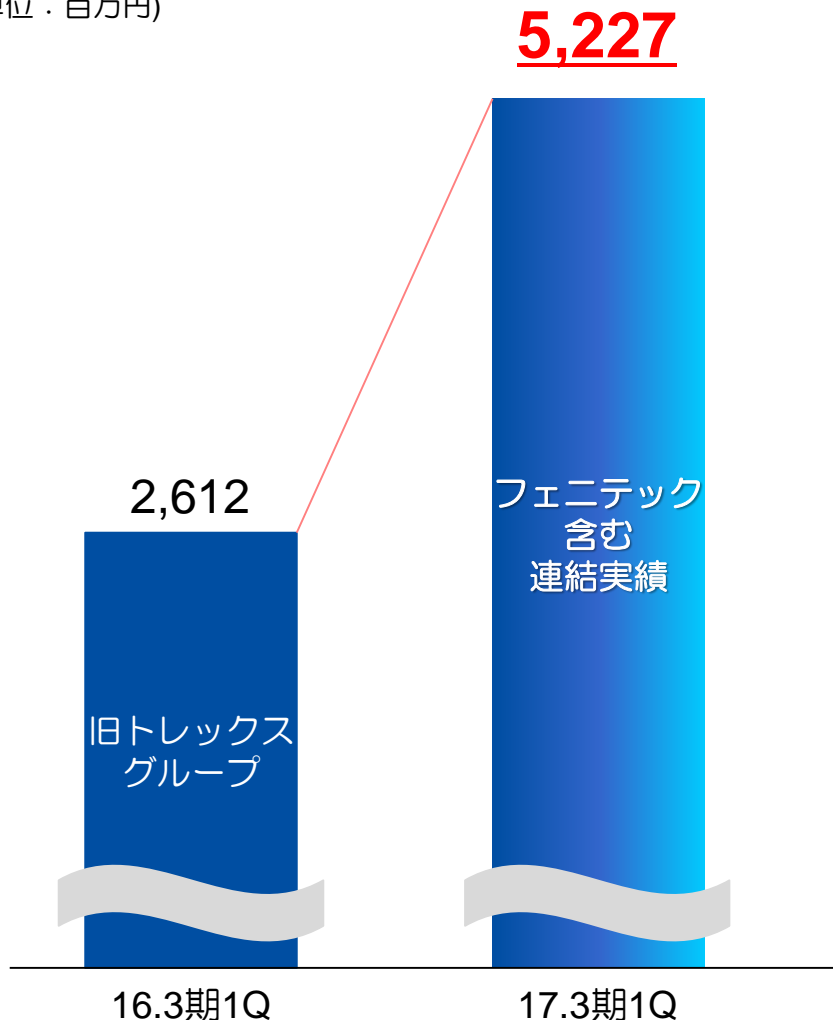
※注：2017年3月期の実績はフェニテックを含む連結の実績です。

(単位：百万円)

科目	2016年3月期1Q 実績	2017年3月期1Q 実績	対前年増減率 (%)
売上高	2,612	5,227	+100.1
営業利益	363	204	▲43.9
営業利益率	13.9%	3.9%	▲10 (ポイント)
経常利益	387	▲384	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	258	2,209	+756.3
EPS (円)	23.78	221.75	+832.5
海外売上高比率(*)	74.6%	67.2%	▲7.4 (ポイント)
平均為替レート (1\$=)	¥121.7	¥109.1	-
減価償却費	95	260	+173.7
設備投資	174	387	+122.4

(*) 海外売上高比率：外貨建て売上比率

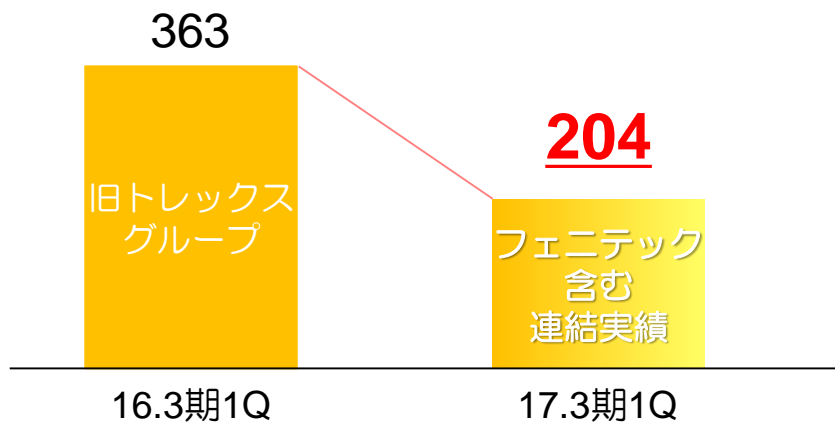
(単位：百万円)



- 旧トレックスグループは前年比3%増収
- フェニテックは円高やお客さまの在庫調整の影響により前年比減収

科目	2015年度1Q 実績	2016年度1Q 実績	増減率 (%)
売上	2,612	5,227	+100.1

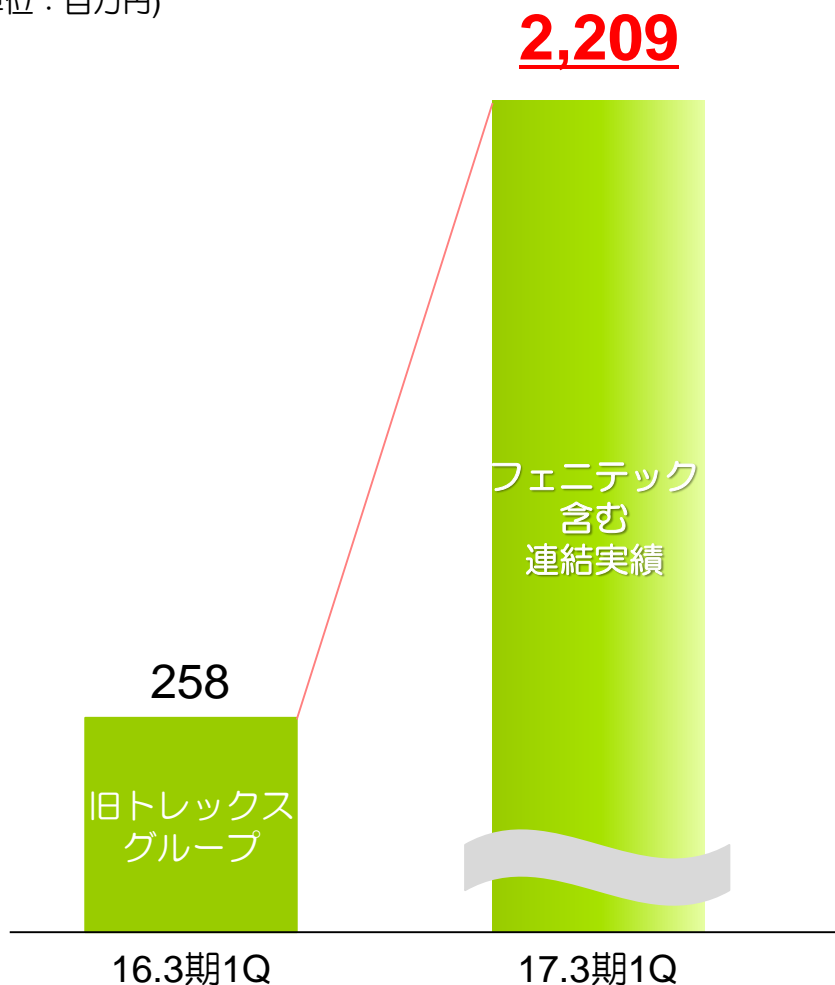
(単位：百万円)



- 旧トレックスグループは関西技術センター開設等に伴う経費増加により前年比31%減益
- フェニテックは原価率が高止まりで利益に貢献できず

科目	2015年度1Q 実績	2016年度1Q 実績	増減率 (%)
営業利益	363	204	▲43.9

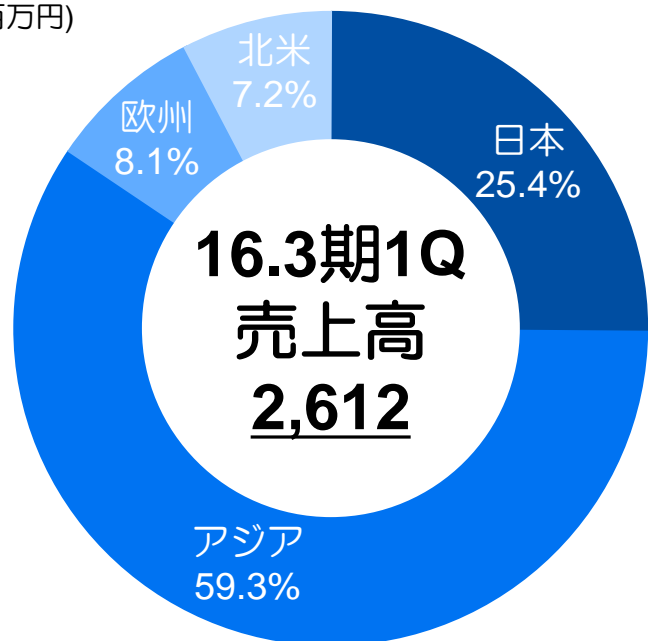
(単位：百万円)



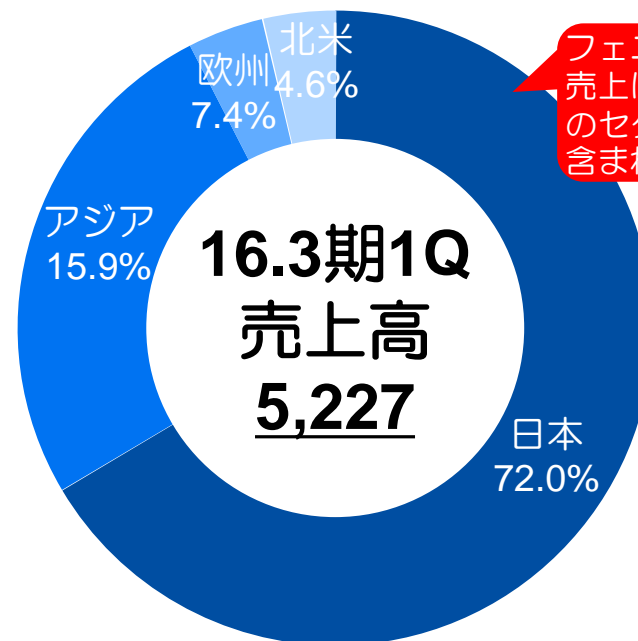
- 営業外で為替差損580百万円
- 特別利益2,497百万円発生
 - 負ののれん発生益1,966百万円
 - 受取補償金530百万円

科目	2015年度1Q 実績	2016年度1Q 実績	増減率 (%)
親会社株主に帰属する当期純利益	258	2,209	+756.3

(単位：百万円)



16.3期1Q



17.3期1Q

エリア	16.3期1Q		17.3期1Q		前年比 売上高
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	663	25.4%	3,480	66.6%	524.9%
アジア	1,548	59.3%	1,368	26.2%	88.4%
欧州	212	8.1%	203	3.9%	95.8%
北米	187	7.2%	174	3.3%	93.0%
連結計	2,612	100%	5,227	100%	200.1%

（アプリケーション別の業績は旧トレックグループのみの数値です。）

（単位：百万円）

		16.3期 1Q		17.3期 1Q		前期比
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高
IND	産業機器	742	28.4%	881	32.6%	118.7%
CAR	車載機器	264	10.1%	367	13.6%	139.0%
MED	医療機器	22	0.8%	30	1.1%	136.4%
WEA	ウェアラブル機器	15	0.6%	22	0.8%	146.7%
OTHER	その他機器	1,569	60.1%	1,401	51.9%	89.3%

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

フェニテックの子会社化により、資産・負債の部が大幅に変わりました。

(単位：百万円)

科目	2015年度末 実績	2016年度1Q 実績	対前年増減率 (%)
資産	12,972	25,255	+94.7
負債	2,043	11,642	+469.6
純資産	10,928	13,613	+26.1

<参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

科目	2015年度末 実績	2016年度1Q 実績	対前年増減率
有利子負債	13	7,918	+59,073.4%
自己資本比率	83.9%	44.7%	▲39.2 (ポイント)
D/Eレシオ	0.00	0.69	+0.69

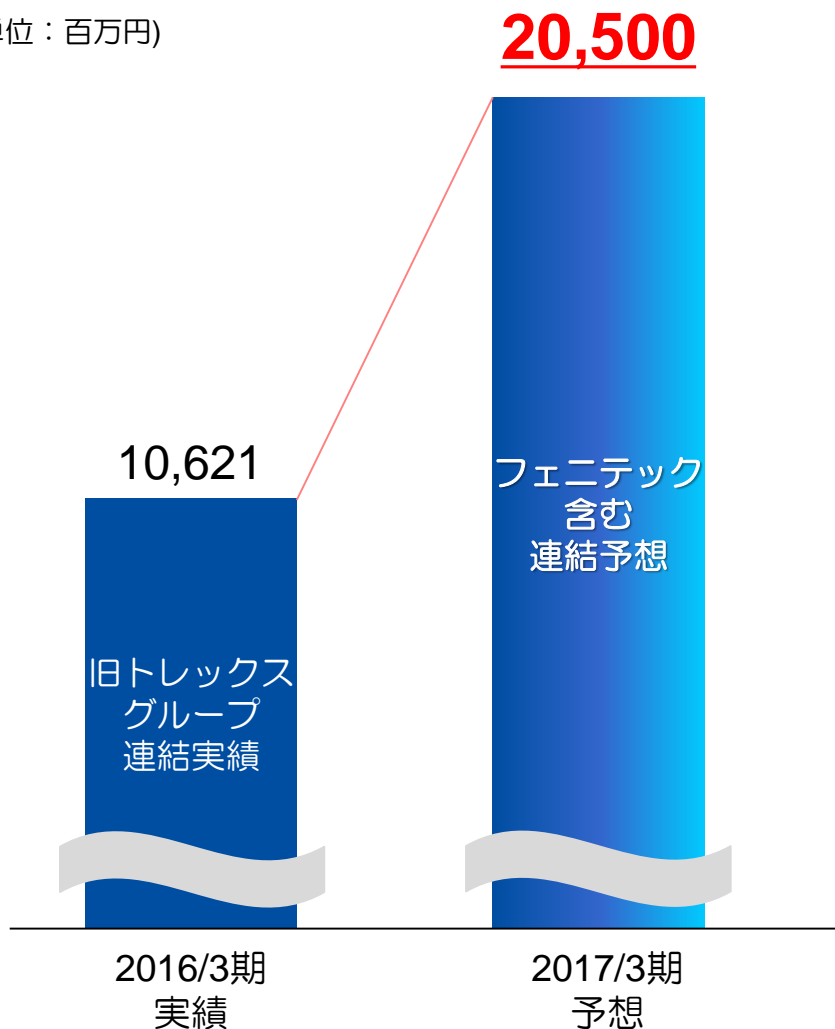
2017年3月期 通期予想

(単位：百万円)

科目	2016年3月期通期 実績	2017年3月期通期 予想	対前年増減率 (%)
売上高	10,621	20,500	+93.0
営業利益	1,139	900	▲21.0
営業利益率	10.7%	4.4%	▲6.3 (ホ° ｲﾄ)
経常利益	970	400	▲55.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	580	2,700	+365.2
EPS (円)	53.57	253.52	+373.2
海外売上高比率 (*)	70.6%	65.6%	▲5 (ホ° ｲﾄ)
平均為替レート (1\$=)	¥120.1	¥100.0 (1Q実績含む平均は¥102.2)	-
減価償却費	441	971	+126.8
設備投資	602	1,528	+153.6
ROE	5.3%	20.0%	+14.7 (ホ° ｲﾄ)

(*) 海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)

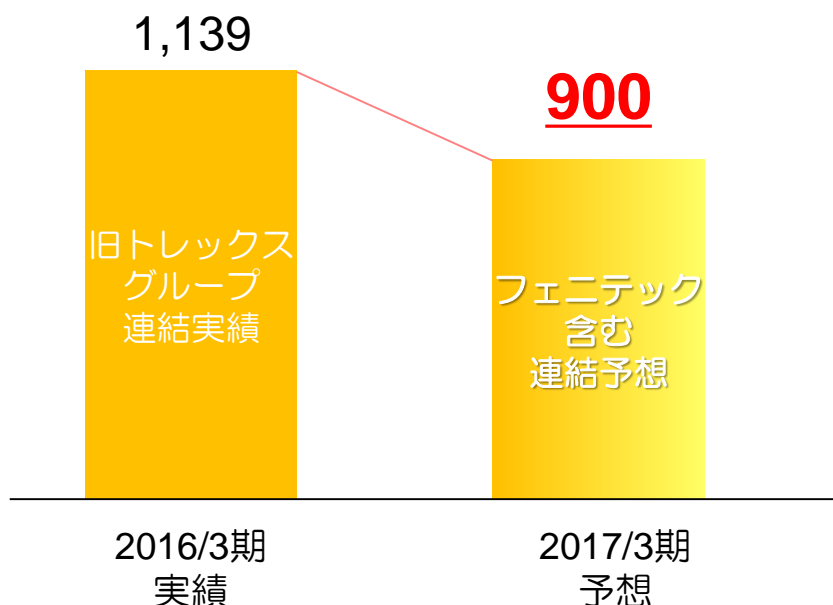


- 旧トレックスグループは前年比微増収の見込
-アジア地域の日系企業向け売上等が減少
- フェニテックはお客様の在庫調整により大幅減収

科目	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減率 (%)
売上	10,621	20,500	+93.0

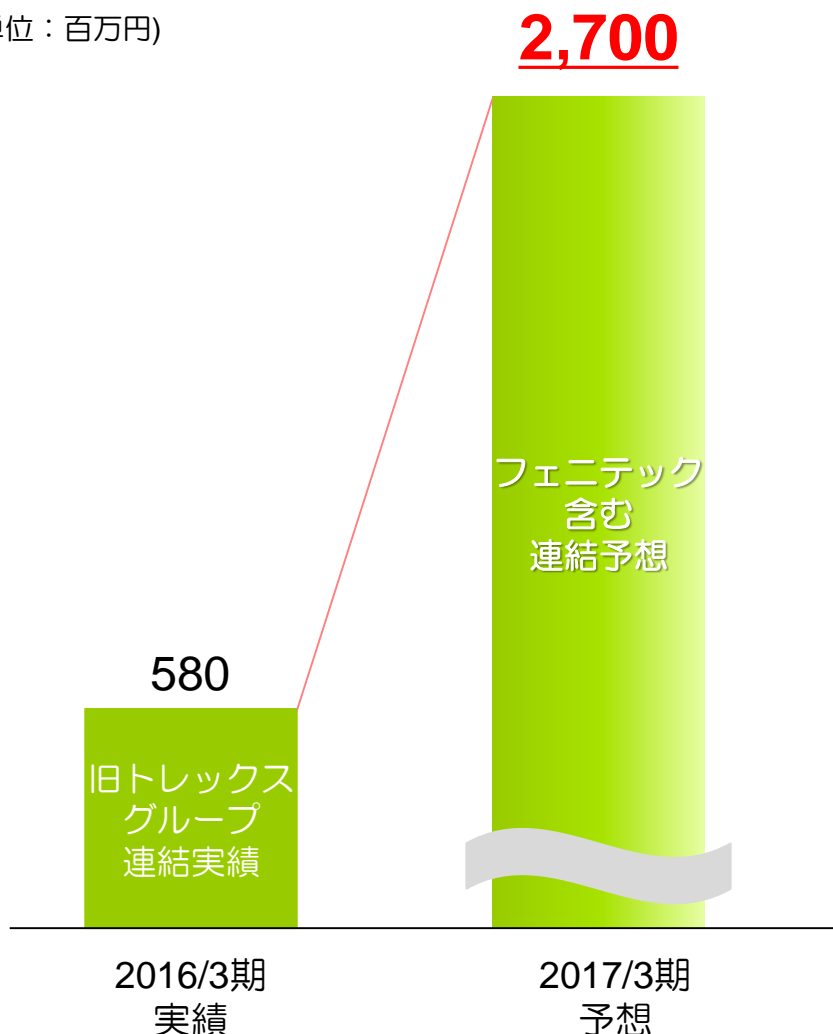
(単位：百万円)

- 円高に伴い利益率が低下
- フェニテックの損益は下期に向けて改善見込だが、通期の減収と利益率低下により利益寄与がほぼゼロ
- フェニテック鹿児島工場の稼働は上がりつつあるが、通期で低いレベルで計上



科目	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減率 (%)
営業利益	1,139	900	▲21.0

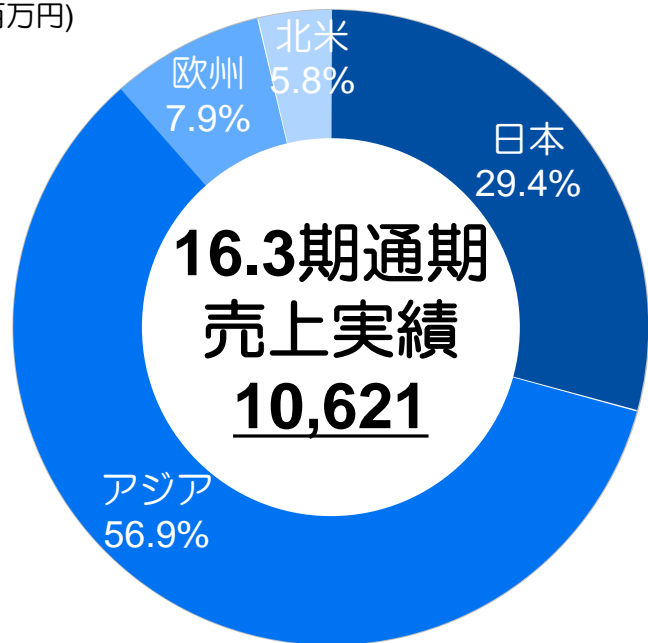
(単位：百万円)



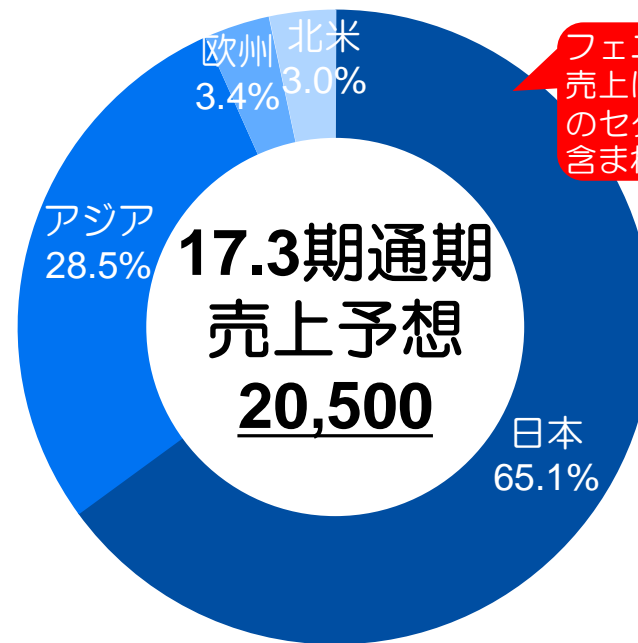
- 第1四半期の特別利益の影響で高い水準の当期純利益で着地予想
- フェニテックの損益は下期に向けて改善見込

科目	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減率 (%)
当期純利益	580	2,700	+365.2

(単位：百万円)



16.3月期通期実績



フェニテックの売上は全て日本のセグメントに含まれる

17.3月期通期予想

エリア	16.3期実績		17.3期予想		売上前年比
	売上	構成比	売上	構成比	
日本	3,119	29.4%	13,400	65.3%	429.6%
アジア	6,042	56.9%	5,800	28.3%	96.0%
欧州	843	7.9%	700	3.4%	83.0%
北米	615	5.8%	600	2.9%	97.6%
連結計	10,621	100%	20,500	100%	193.0%

（アプリケーション別の業績は旧トレックスグループのみの数値です。）

（単位：百万円）

		16.3期 実績		17.3期 予想		前期比
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高
IND	産業機器	2,918	27.5%	3,150	29.7%	108.0%
CAR	車載機器	1,429	13.5%	1,700	16.0%	119.0%
MED	医療機器	96	0.9%	150	1.4%	156.3%
WEA	ウェアブル機器	120	1.1%	400	3.8%	333.3%
OTHER	その他機器	6,054	57.0%	5,200	49.1%	85.9%

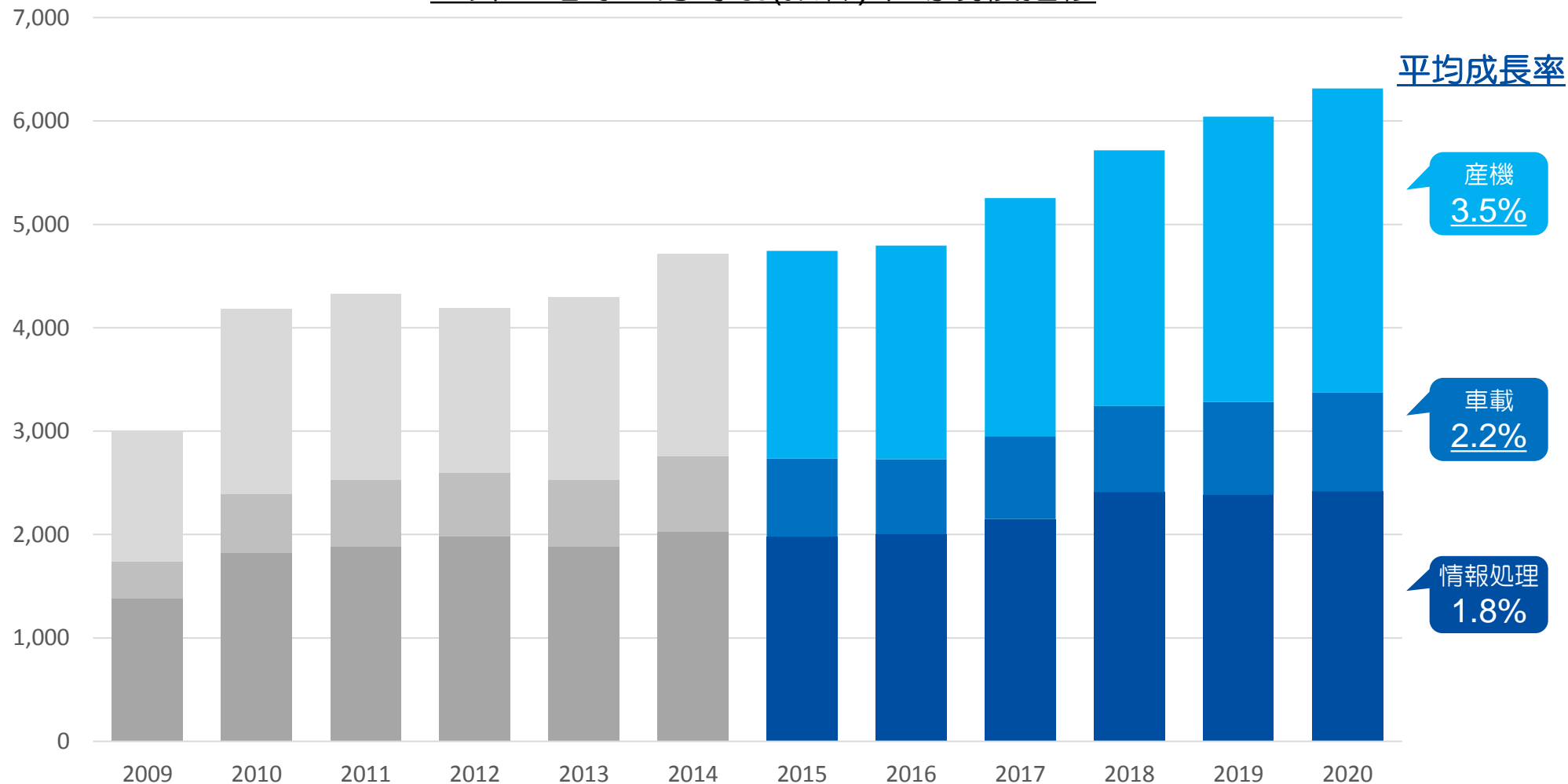
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

トレッスのこれから

電源IC市場は、注力してきた車載機器、産業機器分野は、高い成長率で推移すると予想されています。

(単位： Millions USD)

世界の電源IC分野別(抜粋)市場規模推移

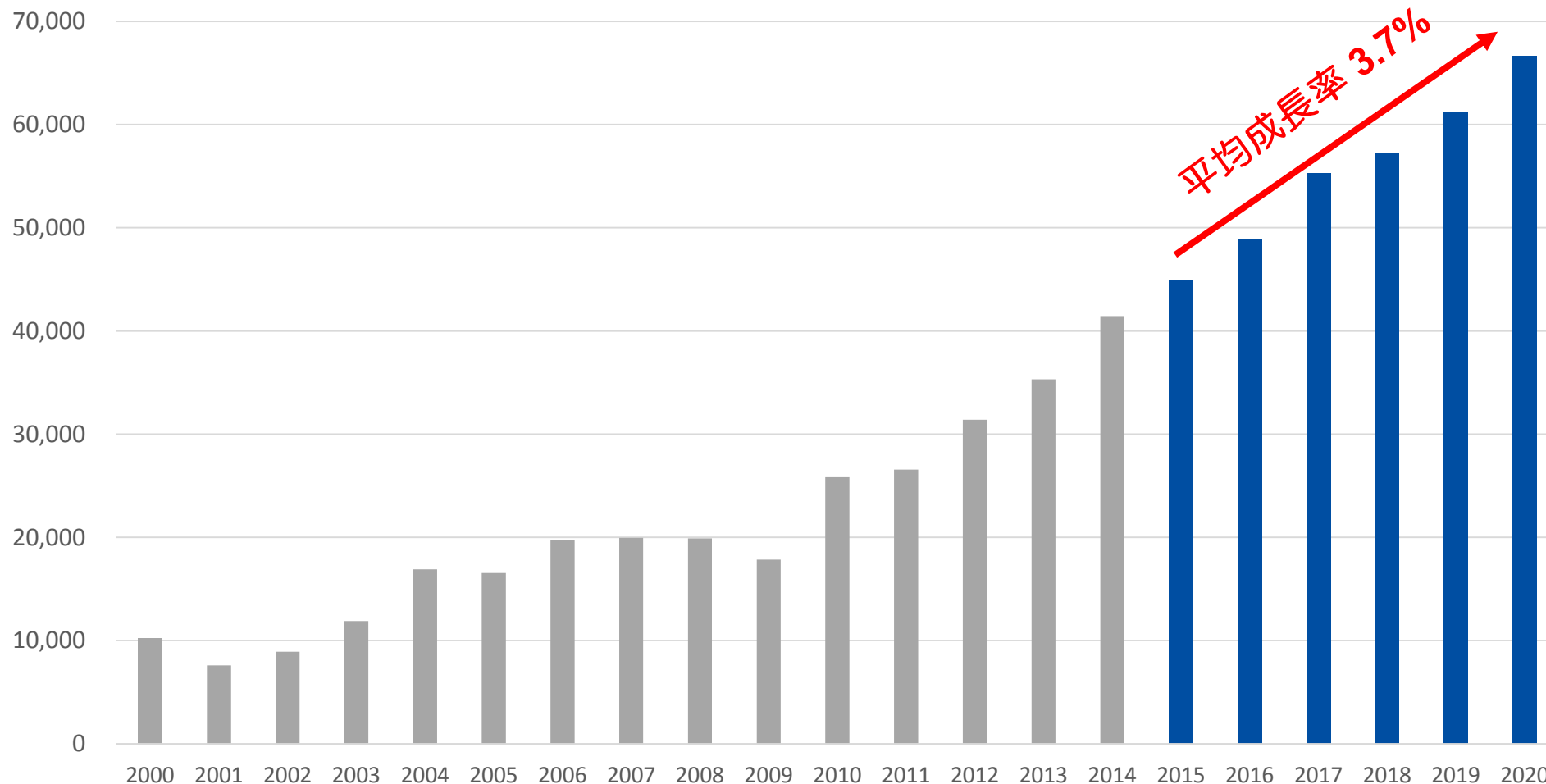


【出典】 IHS Global株式会社調べ (2016年)

ファンドリー市場は、リーマンショック以降堅調に推移しております。

世界のピュアファンドリー市場規模推移

(単位：Millions USD)



【出典】 IHS Global株式会社調べ（2016年）

お客さまに価値のある製品を開発・生産・販売できるよう、グループ全体の強みを最大限に活かせる体制を整えることを課題としております。

集中 攻略

当社グループの強みを活かせる成長性の高い市場として、産業機器・車載機器・医療機器の市場を集中的に攻略する

差別化

当社グループの技術力及びノウハウを結集し、技術ロードマップに基づいた「強み」の強化と拡張を図り、差別化された特長のある製品を創造する

総合力

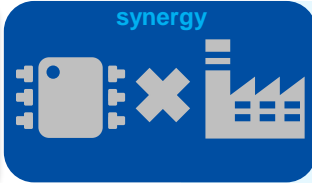
当社グループの企画・開発・購買・生産・品質・販売に係るリソースの緊密な連携を図り、低コストかつ高品質を安定供給することを通じて、顧客へ提供する付加価値を高める

戦略的 提携

戦略的提携を活用して新たな基盤技術や生産技術を積極的に取り込む

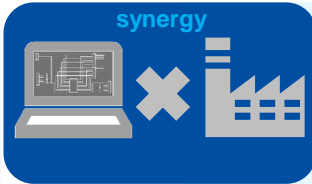
グループ全体でシナジー効果を発揮し、競争力と収益力の向上を目指します。

差別化



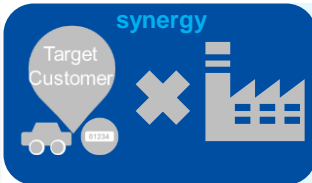
フェニテックの各種製品カテゴリーに関わる技術・知見やオリジナル製品を加えて、両社が協力して開発・販売に取り組むことによって、お客さまへご提供する付加価値を高めてまいります。

総合力



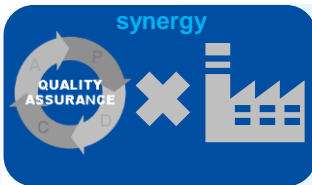
新製品の企画段階から、両社間で製造方法や生産管理手法を含めた協力体制を敷き、開発から製造までを効率よく進めることによって、お客さまへタイムリーに製品をお届けしてまいります。

集中攻略



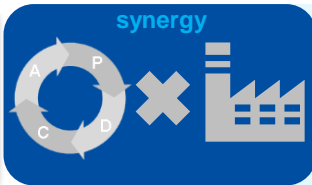
今後当社が開発する産業機器・車載機器向け製品に要する基礎技術の開発、製造キャパシティの整備を協同して進めてまいります。

総合力

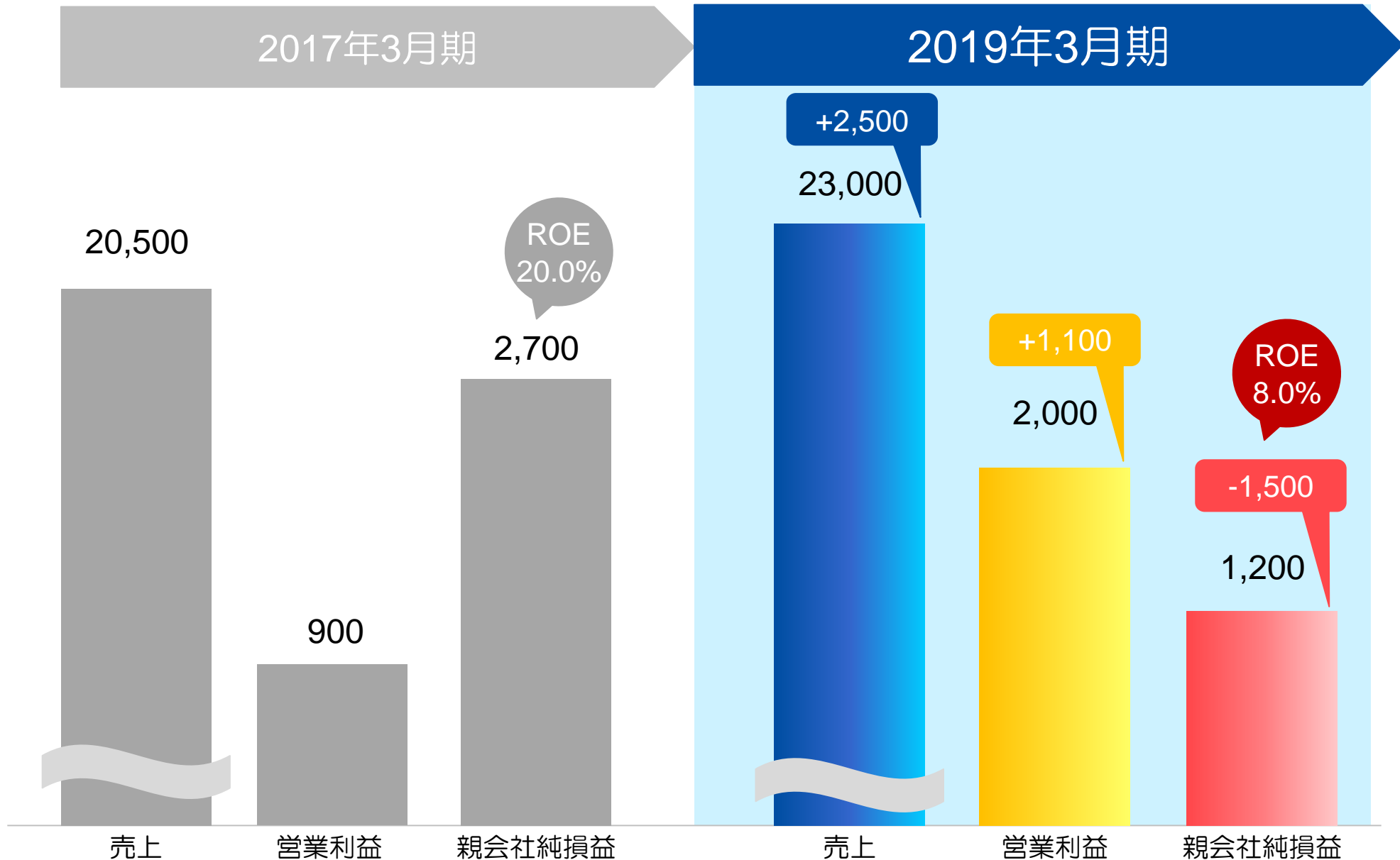


両社の保有する品質管理に関わる技術・設備・ノウハウを持ち寄り、各種の認証制度に的確に対応した品質管理・保証体制の強化を図ってまいります。

総合力



重複する工程や設備投資等を洗い出し、投下資金の効率化を図ってまいります。



Appendix

A-1. 会社紹介

A-2. 株主還元

A-1. 会社紹介

(1) 概要

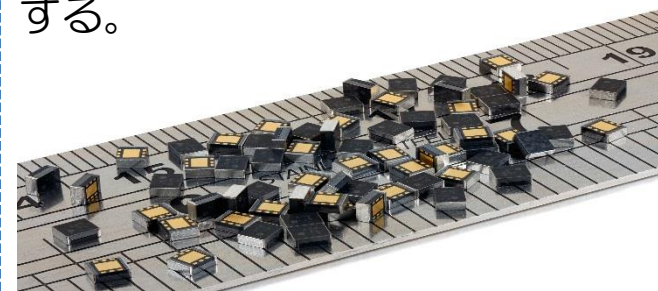
- 2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、その1年後の2015年10月に東証二部に市場変更した、創業21年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 秀和第2新川ビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	18億2017万円（2016年6月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：165名 / グループ：993名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第二部 2015年10月15日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



A-1. 会社紹介

(2) 事業内容

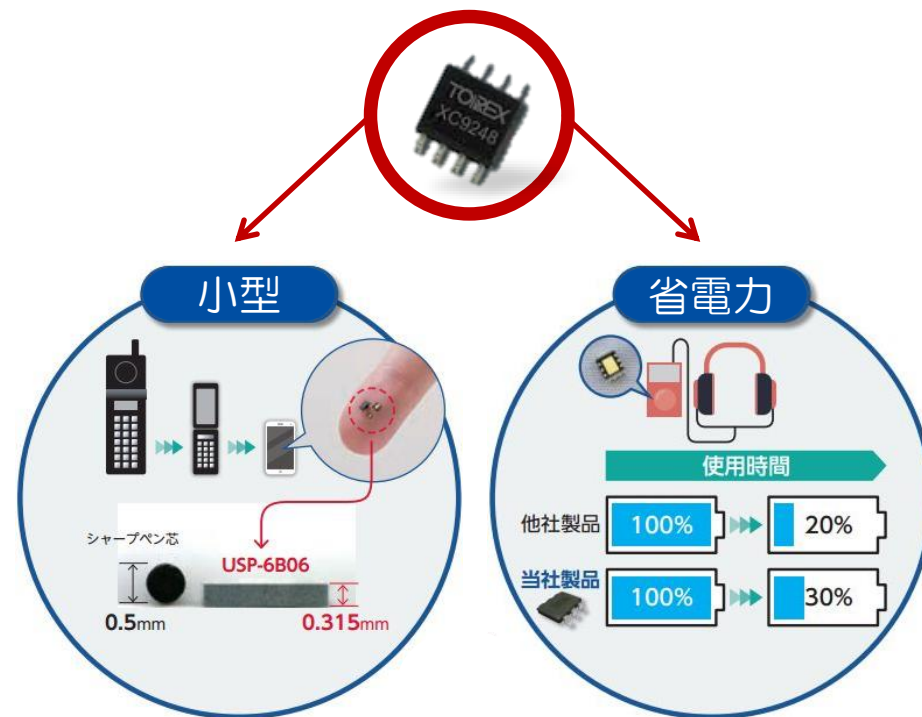
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

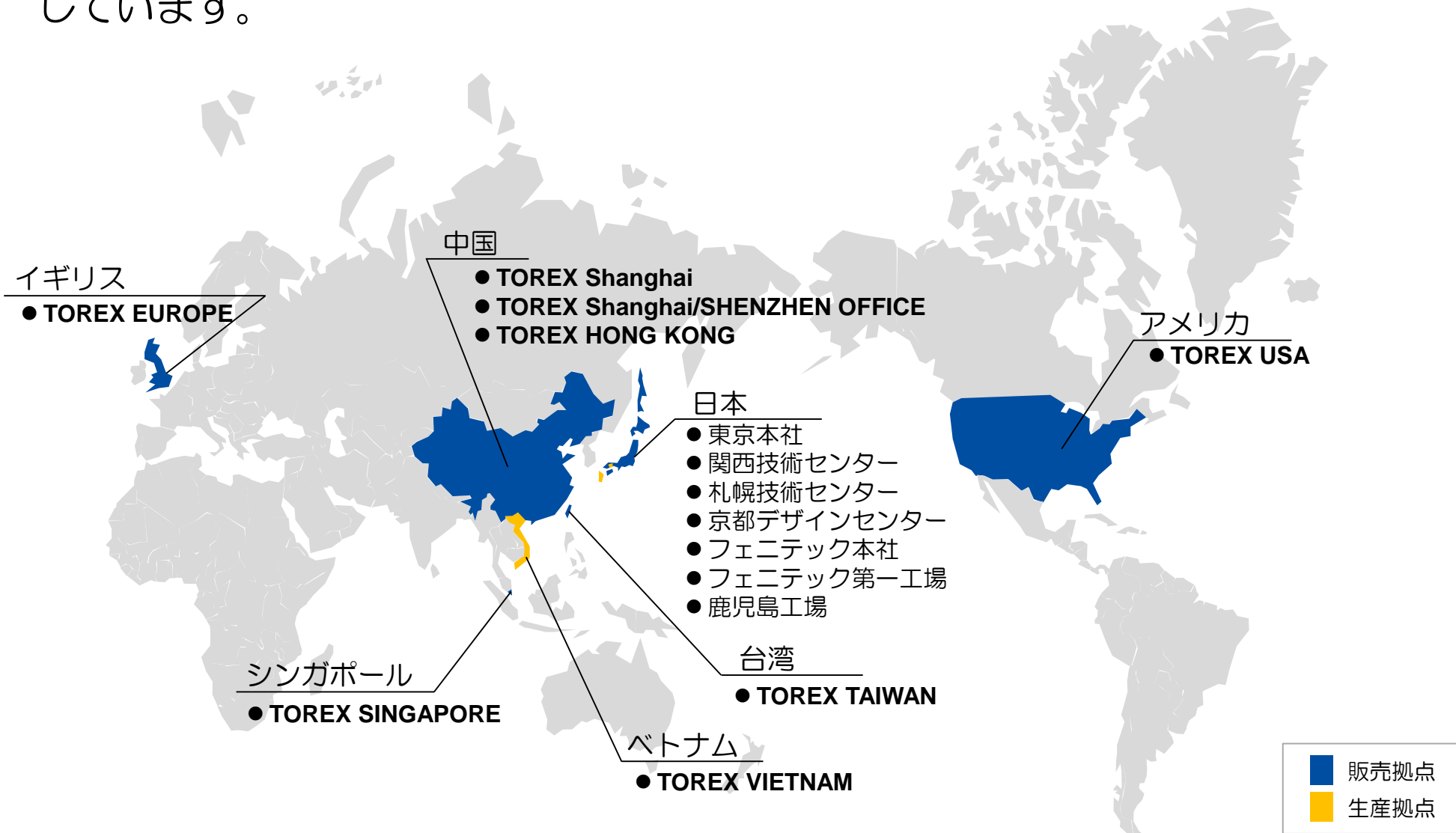
TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

(3) 拠点

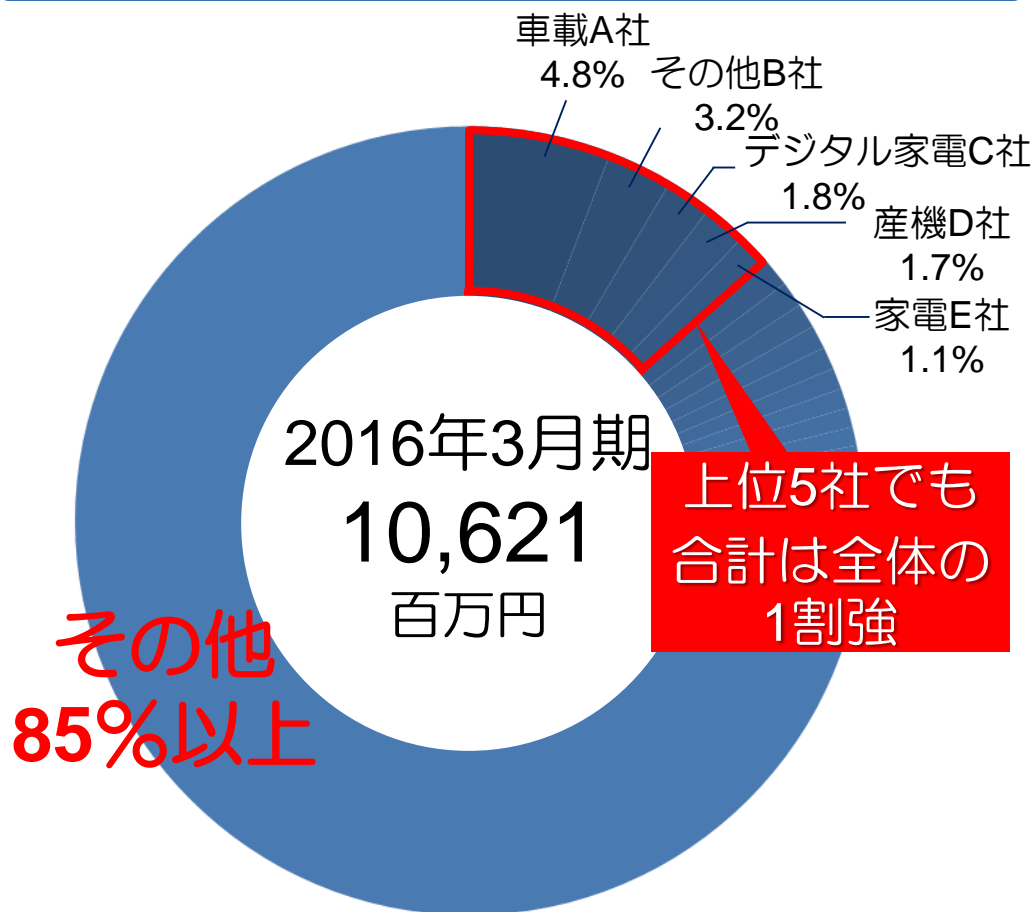
- 国内に東京本社を含む7拠点、海外6カ国に8つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



(4) 特長

- 当社の製品は、様々な分野で非常に多くのお客さまにお使いいただいております。

お客さま別売上構成（例）



主要顧客（例）

- カシオ計算機株式会社
- キヤノン株式会社
- 京セラ株式会社
- ソニー株式会社
- 太陽誘電株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社JVC・ケンウッド
- 三菱電機株式会社
- 株式会社村田製作所
- 富士通株式会社
- Foxconn Precision Components Co.Ltd.
- HTC Corporation
- Lenovo Mobile Communication Technology Ltd.
- LG ELECTRONICS INC.
- Logitech Inc
- Samsung Electronics Co.,LTD

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率（DOE）3%程度を当面の目標として実施してまいります。

A-2. 株主還元 (2) 配当金

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	16円00銭	16円00銭	32円00銭
今期 配当予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること



本資料に記載された内容は、2016年8月10日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。